

別記
第1号様式(第14条関係)

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京 都 府 知 事	2014年7月16日
住所:広島県福山市曙町一丁目12番15号	名称:株式会社エフピコ 前:代表取締役社長 佐藤守正
環境マネジメントシステムの名称	エフピコエコアクション50 (FPEA-50)
適用範囲	エフピコ及びエフピコグループ
導入年月日	2006/4/1
認証番号	自社独自マネジメント。第三者認証の取得はなし
基本方針	【別紙にて記載】エフピコグループの長期目標 CSRレポート2014 P25をご参照
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標(以下「目標」という。)	【別紙にて記載】エフピコグループの長期目標 CSRレポート2014 P17、18をご参照
目標を達成するための取組の内容	【各部門2013年度までの目標】・全製品を対象としたライフサイクル全体のCO2見える化 ・製品の軽量化(2007年度比12%削減) ・生産量あたり電力量の削減(2007年度比13%削減) ・物流のCO2削減(2008年度比総量を17%増に抑える) ・オフィスの環境負荷の見える化及び削減 ・容器及びPETボトルの回収・リサイクルの推進 ・低炭素型製品であるエコトレーの販売拡大 etc ※2013年度以降の目標は策定中
目標を達成するための取組の進捗状況	長期目標について ・2003年度比 総排出量 3.4%増加(2013年度実績) ・2003年度比 排出原単位29.5%削減(2013年度実績) ※東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所事故の影響で、電力会社のCO2排出係数が悪化した影響が出ている
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	・1%の容器軽量化実施(2013年度) ・生産量あたり、13.1%の電力使用量の削減(2013年度) ・物流時のCO2 5.3%増加 ・エコトレーの販売、汎用トレーの79%。各部門の目標に対して、2013年度も順調に推移した。長期目標の達成シナリオにのった推移であった。物流においては販売増に伴いCO2総量は大幅に増加したが、才数当たりの原単位は削減できている。
事業活動に係る法令の遵守の状況	事業活動における法律遵守については、「法的要求事項チェックリスト」及び「遵守評価表」を用いて各工場でチェック及び評価を実施。各事業所(亀岡工場も同様)とも法令遵守を確認している。特に問題はなし。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	環境マネジメントシステムについては問題なく対応できている。企業合併による新規のグループ会社に対するマネジメントシステム導入についても随時実施する。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。